博士学位申請の際の研究業績の記載の分類、記載方法について

研究業績の記入に関して、その分類方法及び記載方法について、以下に一定の基準を示すので参考にされたい。

1. 分類

学位論文に直接関係のある研究業績を以下の順序、分類で、発表時期の新しいものから1. 2.と番号を付けて記載する。また論文の中で博士論文の中核を担う主業績になるものには、○印を付して明示する（下記、記載例を参照）。

また、当該論文（写し）を添付する。採録決定したが未発行の論文については、論文原稿（写し）と採録決定通知書（写し）を提出する。特許公告は1頁目を添付する。

- ① 学術誌原著論文
- ② 査読のある国際・国内会議論文
- ③ 総説：学術誌の解説、講座等
- ④ 著書：著書・編著
- ⑤ 査読のない学会発表論文等
- ⑥ その他：学位論文に直接関係する特許、講演、不定期刊行物、業界誌等に掲載された記事、学内紀要等

2. 記載方法

当該分野の学会等で標準的に使用されている文献等の記載方法に従い記載する。

- ①③学術誌原著論文・総説：著者、題目、掲載誌名、巻号、頁、発表年（月）
- ②⑤査読のある国際・国内会議論文・査読のない学会発表論文等：著者、題目、会議名、場所、頁、発表年月
- ④ 著書：（単著及び共著の場合）著者、書名、総ページ、出版元、出版年
（分担執筆の場合）分担執筆者名、分担題目、分担執筆ページ、書名、編・監修者名、出版元、出版年

<連名、共著の場合の取扱> 記載順に全員の氏名を記載する。申請者に下線を引き、何番目の著者にあたるかが分かるように記載する。また、申請者が第二著者以降で○印をつける場合、共著者から当該論文を博士学位論文申請に使用しない旨の承諾書を取り、添付して提出すること。

記載例

学術誌原著論文	<p>○ 1. <u>早稲田太郎</u>, 大隈二郎, 大久保三郎, “強化学習を用いた遺伝的ネットワークプログラミングとそのエージェントの行動生成における性能評価”, 情報処理学会論文誌, Vol. 46, No. 12, pp. 3207-3217, 2012 年 12 月.</p> <p>○ 2. <u>Taro Waseda</u>, Jiro Okuma, and Saburo Okubo, “Genetic Network Programming for Automatic Program Generation”, Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics, Vol. 9, No. 4, pp. 430-436, July 2011.</p> <p>3. <u>Taro Waseda</u>, Jiro Okuma, and Saburo Okubo, “An Extended Lotka - Volterra Model Based on Fuzzy Symbiosis and Fuzzy Spatial Distribution”, Machine Intelligence & Robotic Control, Vol. 4, No. 2, pp. 49-59, January 2011.</p> <p>○ 4. 大隈二郎, <u>早稲田太郎</u>, 大久保三郎, “進化学習型遺伝的ネットワークプログラミングとそのタイルワールド問題への適用”, 計測自動制御学会論文集, Vol. 40, No. 11, pp. 1105-1113, 2010 年 11 月.</p>
査読のある国際会議論文	<p>○ 1. <u>Taro Waseda</u>, Jiro Okuma, and Saburo Okubo, “Genetic Network Programming Based Rule”, International Conference on Technologies and Applications of Artificial Intelligence, Taiwan, pp. 306-312, Nov 2011.</p> <p>○ 2. Jiro Okuma, <u>Taro Waseda</u>, and Saburo Okubo, “Genetic Algorithms for Neural Networks”, International Conference on Genetic Algorithms, Germany, pp. 1728-1733, Nov 2010.</p>
著書	<p>○ 1. <u>早稲田太郎</u>, “遺伝的ネットワークプログラミングのデータマイニングへの応用”, 354 ページ, ◇◆書店, 2011 年.</p> <p>2. 大隈二郎, <u>早稲田太郎</u>, 第 3 章 進化計算, pp. 128-136, “遺伝的プログラミング”, 大久保三郎編, ▲▲書房, 2010 年.</p>

以上